2020年度
京のまちなか
「龍池学区」活動報告



龍池大原学舎での外部連携活動を始めるにあたって※

2020年3月からの新型コロナウイルス感染拡大によって、京都外国語大学外部連携活動も大きな影響を受けている。わたしたちの活動を受け入れていただいている龍池まちつくり委員会もまた、活動が停止しているのが現状である。恒例の新春行事であった「龍池のお正月を着物で楽しむ」も、祇園祭に重ねて実施してこられた「たついけ浴衣まつり」も私たちが企画している「まちなかスタンプラリー」も2年続けて中止となった。

その中にあって、（公）龍池教育財団が所有されている大原学区に所在する大原学舎の活用については、新しいプロジェクトを開始することができた。兼ねてより大原学舎の活用については提案を求められてきたところであるが、市内にあって自然豊かな環境にある大原学舎は、このコロナ禍においても十分に安全か確保しながら活動できる空間として、私たちの外部連携にとって大切なフィールドになっている。

ウイズコロナ、アフターコロナのまちつくり活動、本学の外部連携活動を実践していくためのパイロットモデルとして活動の柱の一つとして傾注していきたい。

京都外国語大学国際貢献学部
グローバル観光学科・教授
国際文化資料館・館長
南　博史

※この資料は、活動を開始するにあたって、本学外部連携活動の主旨・目的を龍池まちづくり委員ならびに大原学区住民の方々への理解を求めるために作成したものである。

京都外国語大学外部連携

〇国内外で行っている地域連携活動
　たとえば：
　・右京区包括連携などの行政との連携
　・小学校での英語教室など本学の教育活動の延長での連携
　・クラブ・サークルによるボランティア活動
　　海外：Kyoto Gaidai Habitat
　　（東南アジア中心とした建築プロジェクト）
　　：Picture books for Cambodian Children
　　（カンボジアの子どもたちへ絵本を送るプロジェクト）
　　国内：IVUSA京都西院
　　（NPO法人国際ボランティア団体協会の1支部として、
　　西院地域に根ざした活動）

京都外国語大学外部連携

〇国際貢献学部コミュニティ・エンゲージメント活動

※学科2年生秋学期の必修授業。

※グルーバル観光学科では、5~6週間国内外のコミュニティで観光を中心に地域活性化に向けた活動を実施

※たとえば、南は「CEP越前」ということで、2013年から活動している福井県越前町熊谷の限界集落で行っているフィールドミュージアム活動に参加してもらっています。

※フィールドミュージアム活動→地域を博物館と見立て、地域の方と一緒に地域の魅力を発見、活用し、持続可能な地域を作っていこうという活動

京都外国語大学外部連携

〇国際文化資料館および博物館学芸員資格課程による外部連携活動
※博物館学芸員資格課程の履修生が中心。

※1~4年生、毎年40人くらいが学内外での授業や実習にあわせて、外部の地域と連携した博物活動を行っています。

※京のまちなかでは「まちづくり活動」のお手伝い
・京の三条まちづくり、・姉小路界隈を考える会
・龍池まちつくり活動⇒今回のご縁につながりました

※越前フィールドミュージアム活動
2013年から実施、ほぼ毎月1度現地に出かけ継続的に活動

※文友会（社寺建築の建築・修復・保存にかかわる京都の異業種団体）での教育普及活動へ協働

大原学区のみなさんとの協働にむけて

〇京都外国語大学の外部連携活動として、大原学区のみなさんのご理解、ご協力をお願いしたい。

【メンバー】

・グルーバル観光学科コミュニティ・エンゲージメント活動の学生
　「CEP越前」メンバー8名⇒越前での活動と並行して
・博物館学芸員資格課程の履修生（龍池まちつくり活動に参加している学生）
・南のゼミ生（地域活性化をテーマにしている学生が中心）

〇活動拠点として、大原学舎を利用させていただきたい

・ゼミ合宿などの利用
・大原学区との連携活動拠点

※大原学舎はあくまで「教育施設」であることを前提
※大原学区の方々のご理解を得ること